

【Ⅰ. はじめに】

1. デジタル化の急速な進展により従来の産業構造が破壊されつつあるなか、諸外国は強い危機感を持って変化に対応
2. わが国は、経済社会全体をスマート化するSociety 5.0をコンセプトとして打ち出すとともに、官民が一体となって生産性向上の取組みを推進
3. 急速な産業構造の変化に対応しながら、政府が掲げるGDP600兆円を実現するためには、設備や人材への投資を通じた生産性の向上に加え、新たな高付加価値産業の創出が不可欠

【Ⅱ. 有望産業の成長を加速するために必要な施策】

1. わが国において、最も高い付加価値を生み出しているのは製造業(輸送用機器、化学工業、食料品製造業等)
2. Digital Disruption(デジタル化の進展に伴う産業構造の大きな変化)が起こるなか、国際競争を勝ち抜くためには、有望産業への重点的な資源配分が重要

1. 自動運転

- (1)実証実験や法制度整備等の加速
- (2)国際基準・標準作りの主導

2. 革新的素材

- (1)マテリアルズ・インフォマティクスの強化
- (2)高度生産システムの導入および量産化への支援強化
- (3)材料工学および情報科学等に精通した人材の育成強化

3. 次世代蓄電池

- 全固体電池等の次世代蓄電池の研究開発・実用化の加速

4. ロボット

- (1)社会的ニーズの高い分野におけるロボットの研究開発・実用化の加速(医療、介護福祉、移動支援等)
- (2)ヒューマンインタラクション技術の研究開発・実証の強化

5. フィンテック

- (1)レギュラトリー・サンドボックスを通じたオープンイノベーションの推進
- (2)新たな金融サービスの普及・拡大に向けた環境整備(キャッシュレス化、ペーパーレス化)

6. 革新的新薬

- (1)バイオベンチャーの育成強化(創業期への政府支援の拡充)
- (2)創薬AIの開発・活用促進

7. 次世代物流システム

- 物流システム全体の最適化(NACCSのデータの利活用、中小企業へのIoT設備投資支援、貿易金融関連データの電子化・プラットフォーム化に関する国際的な枠組みへの参画)

【Ⅲ. 産業横断的な施策】

1. 産業構造のグランドデザインの具体化	(1) 産業構造のグランドデザインを一元的に策定する場の明確化 (2) グランドデザインの具体化および継続的なアップデート
2. 抜本的な規制改革の推進	(1) レギュラトリー・サンドボックスの有効活用、(2) 特区の特例の全国展開
3. 海外の活力の取り込み	(1) クラスタへの誘致強化、(2) 行政手続の簡素化・電子化 (3) 外国人材の受入れ促進(先端IT分野や社会基盤・生活基盤の維持に資する分野における受入れ促進、アジアからの受入れ促進)
4. 協調領域の明確化およびデータ利活用基盤の整備	(1) データの収集・分析・活用を通じた新たなビジネスの創出の加速(「官民データ活用推進基本計画」に基づく分野横断的なプラットフォームの整備) (2) 政府主導および公的研究機関を媒介とする協調領域の明確化およびデータ利活用基盤の整備
5. 産業の新陳代謝の促進	(1) リスクマネー供給の拡大(CVCIによる投資促進)、(2) 起業人材の育成・確保 (3) 人材の流動化促進に資するリカレント教育の拡充